



ひなた教師塾通信 No. 3



「第4回ひなた教師塾」が実施されました。

第4回 11月21日(土)
9時30分～12時10分

◎研修内容

(1) 講義・演習

「本県における社会教育・生涯学習について
～地域と学校の連携・協働～」

宮崎県教育庁生涯学習課

社会教育主事 佐藤 寿哉

二方 和也

(2) 講義・演習

「道徳科の授業づくりの基本」

宮崎県教育庁義務教育課

指導主事 多田 宏

◎参加者数

臨時的任用講師等 19名、大学4年生9名、
大学3年生9名、計 37名

研修(1)では、はじめに、グループワークが行われ、実践してみたいと思う、「地域と連携した取組」を考え、それを行うために、どのような「人、もの、こと」が関わっているかについて協議し、画用紙にまとめました。



次にグループワークの内容を受けて、地域と学校の連携・協働の必要性や効果、社会に開かれた教育課程についての講義が行われました。その時のプレゼン資料に掲載されている最後の文章を紹介いたします。

これから学校の教員となる皆さんへ

「学校観の転換」が必要です。

学校だけで子どもを育てているではありません

地域における学校の役割とは…

先生方の意識を変えることが求められます

視野を広くもつ 異なる他者と協働する

多面的・多角的に物事をとらえる

柔軟に考える・しなやかな感性



皆さんのこれからの御活躍をお祈りしています。

受講者の感想より

○ 大学3年生の感想

教育実習で、地域全体で子どもを育てていくことについて学んだり、道徳の授業を実際に行い、うまくいかなかったという経験をしたりしました。今回の研修を受けて、地域との連携にどのような効果があるのか、道徳科の指導方法について学びを深めることができました。

○ 大学4年生の感想

グループワークでは、他の学生や高校で講師をしている先生方もおられ、興味深い話をたくさん聞くことができ、充実した研修でした。道徳の授業づくりにおいては、教育実習でもとても苦戦したので基本的な部分から分かりやすく説明を聞くことができ学びが深まりました。

○ 臨時的任用講師の感想

地域と学校が連携・協働することの効果について、生徒指導上では複数の目で子供たちを見ることができ、安心、安全よりよい生活につながるかもしれない、キャリア教育についても、地域の職に触れ、自立に目を向けた学びにつながる可能性もあるかもしれない等、自分なりに考えることができました。地域の方々の幅広い能力や資源を、分野を越えて活用することで、子供たちの学びをより豊かなものにしたと思いました。

研修(2)では、道徳教育と道徳科の関連や考え議論する道徳等についての講義を行った後、「いじりといじめ」(日本文教出版)を用いて、教材分析、ねらいと中心発問の設定についての演習を行いました。学生の中には、つい先日の教育実習で道徳科の授業をした人もいて、「もう一度挑戦したい」、「学びが深まった」という感想をもった人もいたようです。



学級経営について勉強してみませんか？

12月27日(日)は、「学級経営の基本を学ぼう～スーパーティーチャーの実践から～」と題して研修を行います。小学校、中学校、高等学校、特別支援学校から各1名のスーパーティーチャーをお招きし、学級経営についての実践をそれぞれ25分ずつ発表していただきます。その後、30分間の質疑応答の時間を設けておりますので、臨時的任用講師の方々には毎日の勤務で疑問に感じていることや悩んでいること、学生の方々には教育実習でうまくいかなかったこと等の対処法についての疑問を投げかけてみてはいかがでしょうか？「当日、みんなの前では質問しにくいよ～」という方は、メールでも質問を受け付けまして、実践発表の先生方にお伝えしますので、遠慮なくお送りください。まだ、申込み受付中です。多数の参加をお待ちしております。

文責 宮崎県教育研修センター-学習研修課
課題別研修担当